

商品・工法名称	既設管理型最終処分場への特定廃棄物の埋立：ジオテキスタイル（ネット型シート）による不同沈下防止＋高吸水性膨潤性繊維による土壌層削減工法
商品・工法の分類	□瓦礫処理、□除染作業、■除染仮置き、□復旧・復興、□その他
商品・工法概要	不同沈下の発生は放射性物質の吸着層である土壌層を不連続なものにする可能性がある。放射性物質が空隙を抜けて既存の廃棄物層に浸透することとなる。当材料は港湾埋立工事軟弱地盤表層処理工法に多く使用された実績を持つ高強度のジオテキスタイル製品である。
商品規格・概略図等	<p>製品はポリエステル繊維を格子状に織つたもので、表面をアクリル系樹脂でコーティングしたものである。製品幅は2m幅のものでそれを数枚ミシンで縫製加工して大版を作成する。製品端部には接続用のベルト装着されており現場ではベルト部分をテープなどで結束して、現場全体に敷設する。製品は主として40kN/m、70kN/m、100kN/mのものがあり地盤の強度と廃棄物層の高さなどにより計算で求めて材料を選定する。</p>
使用・施工条件 適応場所など	特定一般廃棄物、特定産業廃棄物の埋め立て処分に際して、既存廃棄物層の基盤が弱く不同沈下が発生しそうな場所に使用する。
その他必要資材	ネット型シート（加工品）と接続用のテープ、他に端部固定用の木くい、土のう袋などが必要となる。
使用・施工上の 留意点	シート材料が既存の廃棄物などで損傷を受けないようにするために下層に保護層としての不織布などは必要となる。 袋材の敷設時および土壌投入時に袋材を傷つけないように気をつけること。土壌は一度に50cm一気に撒き出さずに20cmから30cmの薄層で出来るだけ軽量の重機で撒き出しを行うこと。シート端部は荷重が加わったときに引きずり込まれようとするが木くいなどで多少の抵抗を期待する。
維持管理	シートの敷範囲は50cm厚の土壌層の範囲より広く敷設する。土壌施工時、廃棄物積み上げ時にシート端部が引きずり込まれて見えなくならないように管理する。
経済性	比較的安価に不同沈下を防ぐことが出来る。 製品規格(原反)：2m幅×60m巻。定価：FG-40:1,700、FG-70:2,200、FG-100:3,100円/m <sup>2</sup>
参考文献	「ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル」財土木研究センター環境省がトライン2-17
問合せ先	東洋紡績株式会社 スパンボンド事業部 石川、奥村、鳥海 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア 電話03-6422-4858 FAX03-6422-4838 <a href="mailto:Yuji_Okumura@toyobo.jp">Yuji_Okumura@toyobo.jp</a> <a href="mailto:Masahiro_Ishikawa@toyobo.jp">Masahiro_Ishikawa@toyobo.jp</a>